

市川市スポーツ振興基本計画

総合評価書



令和5年8月
スポーツ部 スポーツ計画課

1. 目的

基本計画の計画期間が終了したことにとまねない、最終的な実績をまとめたうえで、基本計画の総合的な評価を実施するものです。

2. 計画期間

基本計画の計画期間は、当初、平成29年度から令和3年度まででしたが、東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の延期や、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化に伴い、計画の期間を1年延長し、平成29年度から令和4年度にしました。

3. 評価方法

市川市スポーツ振興基本計画の事業計画策定時にまとめた、以下3つの手法を用いて評価します。

【評価方法】

(1)基本計画の指標の評価

【基本計画指標の達成率】 = 【指標の実績】 / 【指標の数値目標】

(2)各基本目標の評価

【基本計画事業の評価点】の平均点を【基本目標の評価点】として表し、得点に応じて4段階の評価を行います。

「評価点」90点以上の場合にはA評価、80点以上の場合には「B評価」、70点以上の場合には「C評価」、70点未満の場合には「D評価」とします。

【基本目標の評価点】 = 基本目標における【基本計画事業の評価点】の平均点

【基本計画事業の評価点】 = 各年度の「評価点」の平均点

(3)市民アンケートの調査

市民アンケート調査や事業計画の評価における各事業の方向性により、基本計画の総合的な評価・考察をまとめます。

4. 基本計画の評価

(1) 指標の評価

基本計画に定めていた指標について、令和4年度末時点での評価は以下のとおりです。

指標	計画策定時	数値目標	途中経過 R4.10月時点	最終実績 R5.3月時点
①市民のスポーツ実施率	36.5%	50.0%	37.0%	37.0%
②総合型地域スポーツクラブの数	3箇所	4箇所	3箇所	4箇所
③市民のスポーツクラブ・ 団体への加入率	12.3%	30.0%	12.3%	12.3%
④市公認スポーツ指導者の数	289名	500名	352名	352名

①市民のスポーツ実施率

以下、2種の市民アンケート結果から算出

(1)eモニターアンケート 毎年8～9月頃

(2)計画策定時における市内在住の18歳以上を無作為抽出した市民アンケート調査

②総合型地域スポーツクラブの数

令和5年3月に「GSA総合型地域スポーツクラブ」が設立したことから、最終実績において1箇所増となった。

③市民のスポーツクラブ・団体への加入率

以下、2種の市民アンケート結果から算出

(1)eモニターアンケート 毎年8～9月頃

(2)計画策定時における市内在住の18歳以上を無作為抽出した市民アンケート調査

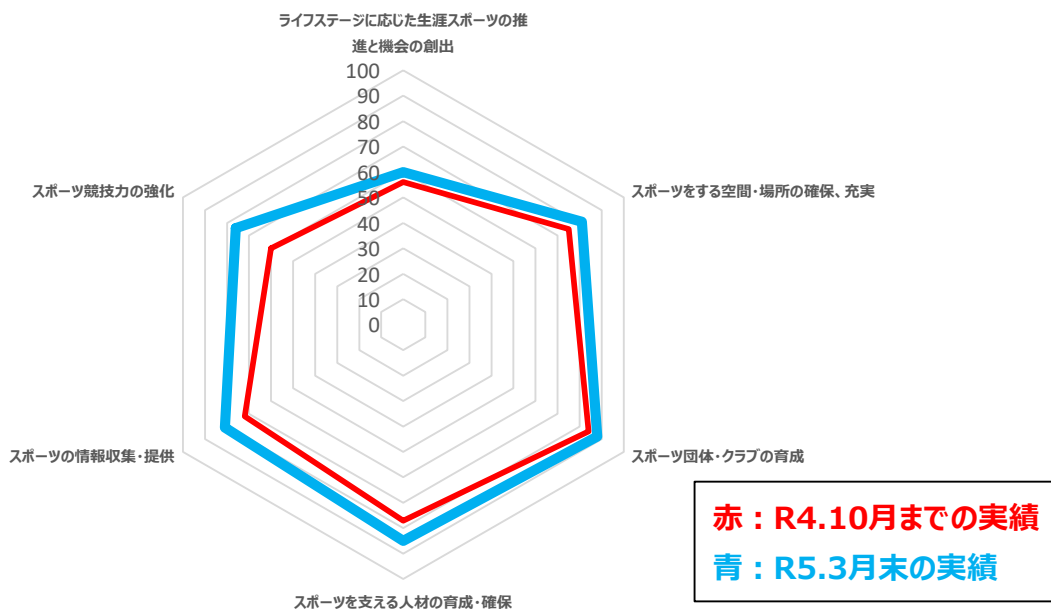
④市公認スポーツ指導者の数

毎年、一定時期に日本スポーツ指導者登録を実施することから、令和4年10月時点と計画終了時の登録者は同数となった。

(2)基本目標の評価

第2期 市川市スポーツ推進計画（令和4年10月時点）で基本目標の評価を行っていましたが、改めて令和4年度末時点での実績を算出し、基本目標の評価を行いました。

基本目標	途中経過 (令和4年10月)	最終実績 (令和5年3月)
1. ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出	56点 D評価	60点 D評価
2. スポーツする空間・場所の確保、充実	75点 C評価	81点 B評価
3. スポーツ団体・クラブの育成	84点 B評価	88点 B評価
4. スポーツを支える人材の育成・確保	77点 C評価	85点 B評価
5. スポーツ情報の収集・提供	72点 C評価	81点 B評価
6. スポーツ競技力の強化	60点 D評価	76点 C評価



- ① 新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、事業の推進を図ることが難しい状況で、数値が伸び悩んでいた。（基本目標1）
- ② 新型コロナウイルス感染症の位置づけが緩和されたことで、これまで休止していた活動場所や事業の再開に伴い数値が増え、評価が上がった。（基本目標2）
- ③ 前回評価時と評価は変動しないものの、令和5年3月に総合型が1箇所設立されたため、評価点が上がった。（基本目標3）
- ④ 総合型が新たに設立されたことで、指導者の確保がすすみ、評価が上がった。（基本目標4）
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の緩和により、提供できる情報が増えたことで評価が上がった。（基本目標5）
- ⑥ トップレベルのスポーツに触れる・みる機会を創出できたことで、選手の試合や競技に挑戦する姿から、市民スポーツに対する関心・意識の向上ができたため、評価点が上がったと考えられる。（基本目標6）

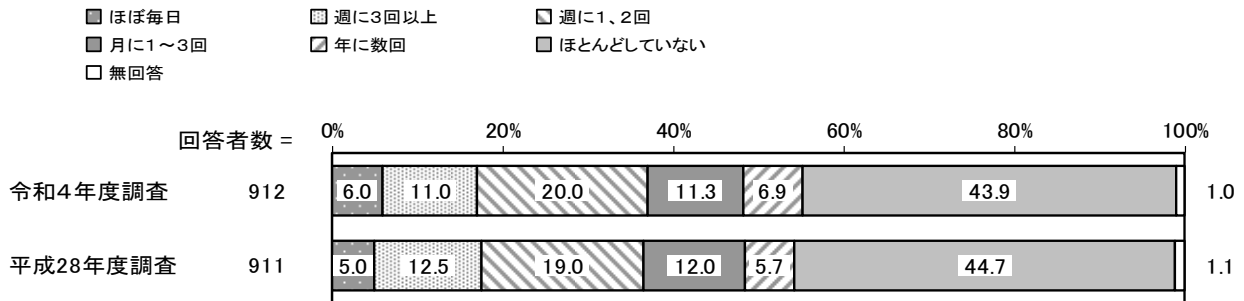
5. 実施事業 実績一覧

基本目標	達成率 評価	基本施策	評価	基本事業	達成率	実施事業	達成率		
1. ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出	60.2%	1 スポーツに親しみきっかけづくりの提供	78.5%	1 スポーツ情報の効果的な発信	90.0%	スポーツに関する情報提供業務	90.0%		
				2 多様な人に対応したスポーツ習慣のきっかけづくり	67.0%	スポーツ推進事業 体育協会補助金交付事業 スポーツ推進委員活動事業 フレンドシップシティ協定関連事業	26.7% 68.0% 73.3% 100.0%		
		2 ライフステージに応じたスポーツの推進	47.1%	1 生涯スポーツイベントの充実	56.0%	スポーツ推進事業 体育協会補助金交付事業 スポーツ推進委員活動事業	26.7% 68.0% 73.3%		
				2 健康増進イベントの推進	36.7%	スポーツ推進事業 健康スポーツ教室事業	26.7% 46.7%		
				3 高齢者向けのスポーツ教室の実施	48.5%	スポーツ推進事業 健康スポーツ教室事業 介護予防普及啓発事業	26.7% 46.7% 72.0%		
		3 子どもの体力向上と体育の充実	50.7%	1 青少年向けのスポーツ教室の充実	50.7%	夢の教室関連事業 スポーツ推進事業 競技力向上推進事業	92.1% 26.7% 33.3%		
		4 障害のある人のスポーツの推進	64.7%	1 障害者スポーツの推進	64.7%	市民スポーツ振興事業 スポーツ推進委員活動事業	56.0% 73.3%		
		2. スポーツをする空間・場所の確保	81.6%	1 公共スポーツ施設の整備	83.4%	1 スポーツ施設の新設、再整備	75.1%	スポーツ施設整備改修事業 国府台公園再整備事業 北東部スポーツ施設整備事業 スポーツ施設管理運営事業 市民プール管理運営事業 市民キャンプ場管理運営事業 北市川運動公園管理運営事業	95.0% 50.6% 35.0% 83.3% 61.7% 100.0% 100.0%
						2 地域空間の利用・活用	91.7%	スポーツ施設管理運営事業 運動広場管理運営事業	83.3% 100.0%
				2 利用可能な施設、空間の有効活用	79.7%	1 学校施設の有効活用	100.0%	学校施設開放事業	100.0%
						2 公共スポーツ施設の使いやすさの向上	85.2%	スポーツ施設管理運営事業 スポーツ施設等備品購入事業	83.3% 87.0%
						3 大学や企業のスポーツとの連携	78.4%	市民スポーツ振興事業 スポーツ指導者育成事業 フレンドシップシティ協定関連事業	56.0% 79.1% 100.0%
4 身近な空間や場所の有効活用	77.7%					スポーツ施設管理運営事業 公園施設維持管理事業 生活習慣改善講座	83.3% 88.2% 61.6%		
5 子どもの居場所づくりの検討	81.2%					スポーツ推進委員活動事業 総合型地域スポーツクラブ育成事業	73.3% 89.1%		
6 民間スポーツ施設との連携	56.0%					市民スポーツ振興事業	56.0%		
3. スポーツ団体・クラブの育成	87.9%			1 総合型地域スポーツクラブの育成	89.1%	1 総合型地域スポーツクラブの育成	89.1%	総合型地域スポーツクラブ育成事業	89.1%
						2 総合型地域スポーツクラブの設立	89.1%	総合型地域スポーツクラブ育成事業	89.1%
						3 クラブ運営者や指導者の育成	89.1%	総合型地域スポーツクラブ育成事業	89.1%
				2 既存スポーツ団体・クラブの活性化	86.7%	1 総合型地域スポーツクラブとの連携	89.1%	総合型地域スポーツクラブ育成事業	89.1%
		2 競技大会の充実、参加の推進	83.1%			体育協会補助金交付事業 スポーツ推進団体補助金交付事業	68.0% 98.2%		
		3 活動拠点の確保の支援	95.0%			スポーツ施設整備改修事業 スポーツに関する情報提供業務 学校施設開放事業	95.0% 90.0% 100.0%		
		4 部活動と地域の連携	79.6%			部活動地域指導者協力事業	80.0%		
						スポーツ指導者育成事業	79.1%		
4. スポーツを支える人材の育成・確保	84.6%	1 スポーツ指導者の育成と確保	84.6%	1 市川市公認スポーツ指導者制度の推進	84.6%	スポーツ指導者育成事業 スポーツに関する情報提供業務	79.1% 90.0%		
				2 活躍の場の確保	84.1%	スポーツ指導者育成事業 総合型地域スポーツクラブ育成事業	79.1% 89.1%		
				3 生涯スポーツ指導者の育成	76.2%	スポーツ指導者育成事業 スポーツ推進委員活動事業	79.1% 73.3%		
				4 総合型地域スポーツクラブ中核スタッフの育成	89.1%	総合型地域スポーツクラブ育成事業	89.1%		
				5 スポーツボランティアの発掘・育成・確保	89.1%	総合型地域スポーツクラブ育成事業	89.1%		
				5. スポーツの情報の収集・提供	80.7%	1 スポーツ情報の集約、充実	90.0%	1 スポーツ関連情報の集約、Webサイトの充実	90.0%
2 スポーツや健康の相談窓口の充実	71.3%	相談窓口の充実 スポーツ施設管理運営事業	90.0% 83.3%						
2 スポーツや健康の相談窓口の充実	71.3%	2 運動療法や運動処方への展開	56.0%			市民スポーツ振興事業	56.0%		
		6. スポーツ競技力の強化	76.0%			1 競技スポーツに触れる機会の提供と活動支援	85.0%	1 国内外のスポーツ交流の推進	85.0%
1 優れた素質を有する選手（ジュニア選手）の発掘・育成	57.1%			体育協会補助金交付事業 スポーツ大会等派遣参加費用補助金交付事業 競技力向上推進事業	68.0% 70.0% 33.3%				
2 競技力強化体制の構築	67.0%			2 指導者の養成・確保とスポーツ医・科学の推進	56.2%	スポーツ指導者育成事業 競技力向上推進事業	79.1% 33.3%		
				3 スポーツ拠点施設の整備・充実	91.0%	スポーツ施設整備改修事業 スポーツ施設等備品購入事業	95.0% 87.0%		
				4 スポーツ関係団体等の整備・強化	63.8%	体育協会補助金交付事業	68.0%		
						スポーツに関する情報提供業務 競技力向上推進事業	90.0% 33.3%		

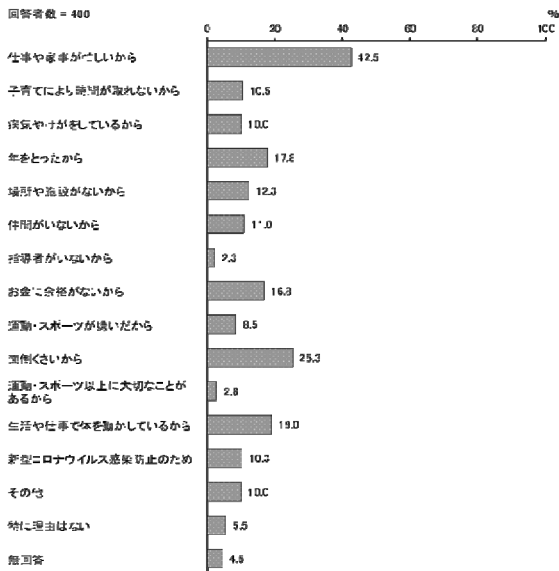
6. 市民アンケート調査

アンケート調査は、計画の見直しにあたり、社会情勢や環境の変化、市民のスポーツに関する意識や要望の多様化に対応し、市民の意見等を幅広く反映させる基礎資料として実施したものです。

①スポーツ・レクリエーションの実施状況



②スポーツ・レクリエーションに参加しない理由



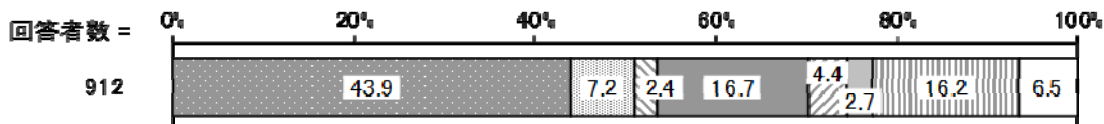
スポーツをする人の割合は平成28年度から大きな変化はなく、約45%が「ほとんどしていない」であり、数値目標に定めている週1回以上の運動実施者は37%となっています。

平成28年度同様、スポーツ・レクリエーションをしたいと考えている人は多く、時間が取れないことを除くと、環境として場所や施設、仲間や指導者が不足していることが挙げられます。

また、令和2年度より世界的かつ日本においても流行した、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響も見られますが、継続した市民のスポーツ実施に対するきっかけと活動を継続できる環境の推進が求められます。

③スポーツ行政に求めるもの

- 身近に利用できる施設の整備やスポーツのできる場所の充実・有効活用を図る
- 気軽に参加できる地域スポーツ団体の充実
- スポーツ指導者の確保・育成・派遣
- 年齢や趣向など様々な方を対象としたイベントや教室の実施
- スポーツ機会や活動団体の情報発信
- その他
- 特になし
- 無回答



「身近に利用できる施設の整備やスポーツのできる場所の充実・有効活用を図る」の割合が43.9%と最も高く、次に「年齢や趣向など様々な方を対象としてイベントや教室の実施」が16.7%となっています。

これらの結果から、「スポーツをする空間・場所の確保、充実」と「スポーツ機会の創出」について市民の意向が高いため、各施策、事業について重点的な推進が必要と考えられます。

7. 総 評

(基本計画の指標達成率)

指標	計画策定時	(a)	(b)	(b/a)
		数値目標	最終実績	達成率
①市民のスポーツ実施率	36.5%	50.0%	37.0%	74%
②総合型地域スポーツクラブの数	3箇所	4箇所	4箇所	100%
③市民のスポーツクラブ・団体への加入率	12.3%	30.0%	12.3%	41%
④市公認スポーツ指導者の数	289名	500名	352名	70%

- ①市民のスポーツ実施率は、計画策定時から0.5%の増となったが、目標達成には及びませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響により、社会情勢や価値観の変化がみられることから、今後は、その時代にあったスポーツをする機会の創出が求められます。
- ②総合型地域スポーツクラブは数値目標を達成しました。今後、学校部活動の地域移行において、総合型地域スポーツクラブは受け皿としての役割も検討されていることから、新たなクラブの配置についても検討していく必要があります。
- ③市民スポーツクラブ・団体への加入率は計画策定時と数値は変動しませんでした。要因としては、市民のスポーツ実施率と同様、新型コロナウイルスの流行により、団体での活動よりも単独で運動する機会が増えたことが考えられます。今後、個人のスポーツ活動の推進を図るとともに、スポーツ環境を充実させるため、スポーツ団体の拡充を検討していく必要があります。
- ④市公認スポーツ指導者も目標を達成することができませんでした。今後も市内の指導者の確保や育成を進めるとともに、資格の在り方や指導者の活躍の場の提供など、資格自体の価値向上も検討していく必要があります。

各取り組みにおいて、新型コロナウイルス感染症の流行により、事業の中止が相次いだこともあって計画通りの進捗を図れなかったことが大きな要因としてあります。

中でも「ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出」及び「スポーツ競技力の強化」については、イベント中止や施設の閉鎖による影響などが顕著に表れました。

今回評価の低かったものについては、継続して事業の推進を図るとともに、その他の事業においても、社会情勢やニーズを踏まえた目標・事業の在り方を再検討し、市民スポーツの推進を図ります。

評価を踏まえ、第2期に盛り込んだ事柄

- 基本目標「スポーツ機会の創出」を拡充し、市民の関わりの充実を図る。
 - 関連事業の取組や関連部署との連携を強化
 - 計画指標は継続して達成目標とする（一部見直しや変更は検討する）
 - 具体的な取り組みや指標、数値目標の設定と計画の適切な進行管理による実効性の向上
- 今回評価の低かったものについては、継続して推進を図るとともに、その他の事業においても社会情勢やニーズを踏まえた目標・事業の在り方を再検討し、市民スポーツの推進を図っていきます。

市川市スポーツ振興基本計画 総合計画書
令和5年8月

編集・発行：市川市 スポーツ部 スポーツ計画課